

日本歴史言語学会 2025 年大会 開催のご案内

例年より厳しさを増した暑い季節が過ぎて、少しばかり心地よい夕暮れを迎えるようになったこの頃ですが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、本年も日本歴史言語学会の大会のご案内をさせていただき時期を迎えました。今年は、京都大学にて、対面と Zoom での遠隔というハイブリッド形式で皆様をお迎えしようと企画しております。恒例の研究報告に加え、今年は「歴史言語学と統語理論」というタイトルでの公開シンポジウムを予定しております。歴史言語学のさまざまな分野において、互いの知見を交換する機会にしたいと思います。お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

12 月に晩秋の京都大学にて皆様方とお目にかかれることを心より楽しみにしております。

日本歴史言語学会 会長 田口善久

記

開催日時 2025 年 12 月 13 日（土）～14 日（日）

開催場所 京都大学吉田キャンパス（京都市左京区吉田本町）

受付場所 京都大学 文系学部校舎 1 階 ぶんこも入口（12 月 13 日）

京都大学 文学部第 7 講義室前（12 月 14 日）

主会場 京都大学 文系学部校舎 1 階 ぶんこも（12 月 13 日）

京都大学 文学部第 7 講義室（12 月 14 日）

※ 会場とオンライン配信を併用するハイブリッドでの開催です。Zoom 情報は、会員 ML で 12 月 12 日までにご連絡します。

※ 会場でご参加の方は、会場準備の都合上 [info\(AT\)jip-histling.com](mailto:info(AT)jip-histling.com) 宛てに 12 月 5 日までにご連絡ください。

※ 懇親会へご参加の方は、会場準備の都合上 [info\(AT\)jip-histling.com](mailto:info(AT)jip-histling.com) 宛てに 11 月 30 日までにご連絡ください。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等のためオンライン開催のみとなった場合は、会員 ML および学会 HP 上でご連絡します。

大会参加費 日本歴史言語学会会員は無料

非会員：2,000 円（一般）、1,000 円（学生）

【1 日目のシンポジウムは公開。無料】

懇親会費 5,000 円（一般）、3,000 円（学生）

大会委員長 平子達也（南山大学）

日本歴史言語学会 2025 年大会プログラム

第 1 日目 12 月 13 日 (土)

13:00～	受付	場所	京都大学 文系学部校舎 1 階	ぶんこも入口
13:15～	開会式	会場	京都大学 文系学部校舎 1 階	ぶんこも
	開会の辞	会長	田口善久 (千葉大学)	
13:30～18:10	公開シンポジウム	会場	京都大学 文系学部校舎 1 階	ぶんこも
18:30～20:30	懇親会	会場	京都大学 文系学部校舎 1 階	ぶんこも

公開シンポジウム

歴史言語学と統語理論／Historical Linguistics and the Theory of Syntax

(使用言語：日本語／英語)

13:30-13:40 趣旨説明 天野 恭子 (京都大学)

第一部：司会 金澤 雄介 (近畿大学)

13:40-14:20 講演 1 青柳 宏 (南山大学) 日韓語のボイス交替について—正負の文法化という視点から—

"On voice alternation in Japanese and Korean: a view from positive and negative grammaticalization"

14:20-15:00 講演 2 小川 芳樹 (東北大学) 日本語に文法素「の」は何種類あるのか？～通時的な構文の

発達と衰退からの視点～

"How many different kinds of "no" as grams are there in Japanese?: a perspective from the diachronic rise and decline of constructions"

第二部：司会 小川 芳樹 (東北大学)

15:15-15:55 講演 3 松江 崇 (京都大学) 古代中国語における疑問詞の移動現象とその消失過程

"The movement and disappearance of interrogative words in Archaic Chinese"

15:55-16:35 講演 4 天野 恭子 / Davide Mocci (京都大学) "Resumptive pronouns and the stratification of the early Vedic prose texts"

初期ヴェーダ散文文献における補充代名詞と年代的層別

16:35-17:15 講演 5 金澤 雄介 (近畿大学) 古サルデーニャ語とロマンス諸語における使役文の統語構造について

"The syntactic structure of causative constructions in Old Sardinian and the Romance languages"

17:30-18:10 全体討論：司会 天野 恭子 (京都大学)

コメンテーター 縄田 裕幸 (島根大学)

※ 本シンポジウムの趣旨および各講演の要旨については、別添の「要旨集」を参照ください。

※ 本シンポジウムには、会員以外の方も参加いただけます(無料)。参加ご希望の方は、12月5日までにinfo(AT)jhp-histling.com

まで「シンポジウム参加希望(非会員)」を件名としてご連絡ください。その際、会場での参加かオンラインでの参加かを必ず明記ください。オンラインでの参加をご希望の方には、ZOOM 情報を 12月12日までにご連絡します。

第2日目 12月14日（日）

10:00～	受付	場所 京都大学 文学部第7講義室前
	会場	会場 京都大学 文学部第7講義室
10:30～11:05	口頭発表 1	小林 茂之（聖学院大学） 古英語における素性不一致と統語構造の変化 司会：近松 明彦（大阪学院大学）
11:10～11:45	口頭発表 2	笠松 直（仙台高等専門学校） 梵文『法華經』諸伝本における命令法 司会：川村 悠人（広島大学）
11:50～12:25	口頭発表 3	尾園 絢一（広島大学） ホメーロス叙事詩における指示代名詞の関係詞的用法について 司会：堂山 英次郎（大阪大学）
12:25～13:35	休憩	
13:35～14:15	総会	
14:30～15:05	口頭発表 4	朱 易安（小樽商科大学） 音素対立に基づいた音韻距離測定 司会：田口 善久（千葉大学）
15:10～15:45	口頭発表 5	白鳥 詩織（中央大学 学部生） 日琉祖語の第八母音の提唱 司会：平子 達也（南山大学）
15:45～	閉会の辞	副会長 堂山 英次郎（大阪大学）

※ 各口頭発表の要旨については、別添の「要旨集」を参照ください。

※ 非会員で2日目の口頭発表に参加をご希望の方は、12月5日までに [info\(AT\)jp-histling.com](mailto:info(AT)jp-histling.com) まで「口頭発表参加希望（非会員）」を件名としてご連絡ください。その際、会場での参加かオンラインでの参加かを必ず明記ください。参加費 2000 円の支払い方等について返信いたします。オンラインでの参加をご希望の方には、ZOOM 情報を 12月12日までにご連絡します。

交通と会場のご案内

京都大学吉田キャンパス（京都市左京区吉田本町）
アクセス <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

京阪電車出町柳駅から徒歩 20 分、もしくはバス 10 分（17, 201, 203 系統）百万遍下車
阪急電車河原町駅よりバス 25 分（201 系統）百万遍または京大正門前下車
京都市営地下鉄烏丸線今出川駅よりバス 10 分（201, 203 系統）百万遍下車
JR/近鉄電車京都駅よりバス 35 分（17, 206 系統）百万遍下車
京都市営地下鉄東西線東山駅よりバス 20 分（201, 206 系統）京大正門前または百万遍下車

キャンパスマップ

吉田キャンパス全体 <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus#yoshida>
本部構内 <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y>

会場は吉田キャンパス本部構内、文系学部校舎（12 月 13 日；キャンパスマップ 7）及び文学部校舎（12 月 14 日；キャンパスマップ 8）です。



お知らせ

入会と会費納入

日本歴史言語学会では会費を低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方々の入会・参画を歓迎しています。

入会には以下2点が必要です。詳しくは<http://jp-histling.com/information/admission/>をご覧ください。大会での紙媒体による入会申込（年会費支払を含む）は、転記ミス等防止のため大会時の受付では対応しておりません。事務局宛てにメールにて随時お申し込み下さい。

1 入会申込書の提出

入会申込書は上記 URL から入手できます。メール添付にて事務局まで提出下さい。

2 年会費の納入（現会員の方も御高配ください）

郵便振替口座をご利用ください。

郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはご住所、お名前、払込金の用途（例えば「普通会員 2024 年会費」）とメールアドレスを記載してください。郵便局（ゆうちょ銀行）へは、一般銀行やネットバンクからも納入できます。

なお、2017 年度から会費が変更されています。ご注意ください。

普通会員 6,000 円（下記以外の会員）

学生会員 3,000 円（学生である会員）

シニア会員 3,000 円（定年退職後定職を持たない会員）

賛助会員 10,000 円（一口）（趣旨に賛同する法人等）

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

学会誌『歴史言語学』

日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』（*Historical Linguistics in Japan: HLJ*）はわが国の歴史言語学徒を繋ぐ市販の定期刊行物です。既刊 1～5 号については各種書店、Amazon.co.jp あるいは大学教育出版からお求めください。6 号以降については、学会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

会場および大会について：大会委員長 平子達也（南山大学）[hirako\(AT\)nanzan-u.ac.jp](mailto:hirako(AT)nanzan-u.ac.jp)

その他：事務局長 西田文信（早稲田大学）[info\(AT\)jp-histling.com](mailto:info(AT)jp-histling.com)

日本歴史言語学会
Japan Society for Historical Linguistics: JSHL

会長 田口善久
<http://www.jp-histling.com>